

# 令和6年度 城之内邦雄杯争奪 香取市少年野球夏季大会 要綱

1. 趣旨 本大会を通じて、少年少女の、スポーツを愛し、楽しみ、相互が協調・調和できる心と、総合的な運動による身体の健全な育成を図り、各チームの伸展に寄与すると共に、軟式野球の普及に努める。
2. 主催 特定非営利活動法人水郷軟式少年野球協会
3. 後援 香取市スポーツ協会、香取市スポーツ少年団
4. 期日 令和6年 6月23日(日) 雨天順延  
29日(土)  
30日(日)  
7月 6日(土)  
7日(日)  
13日(土)  
14日(日)  
予備日含む
5. 会場 香取市与田浦運動広場 他  
(香取市津宮4992番地85)
6. 受付 試合会場受付
7. 開会式 実施しない
8. 表彰 優勝 賞状・優勝旗・優勝杯  
準優勝 賞状・準優勝楯  
第3位 賞状・楯
9. 登録人員 代表者、監督、コーチ2名、スコアラー、  
介護員、選手20名以内
10. 参加負担金 1チーム 6,000円  
各会場にて納入。
11. 競技運営に関する注意事項
  - (1) 対戦表決定後は、選手の追加、変更及び背番号などの変更は認めない。但し、疾病・負傷等の特別な場合は、資格審査の上、認めることもある。
  - (2) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
  - (3) 打順表(メンバー表)の提出  
大会本部へ試合開始40分前に監督、主将が3部(放送する場合は4部)持参してトスと球場等の諸注意を確認する。
  - (4) シートノック
    - ① 補助員としてコーチ(背番号28・29)を認める。  
なお、コーチ1人のブルペン捕手を認める。(試合開始までの時間を許可する)
    - ② 後攻チームより行い、時間は5分間とする。
    - ③ ノッカーも必ず選手と同様のユニフォーム並びに、捕手はプロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず着用すること。
    - ④ 大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。
  - (5) 雨天の場合
    - ① 雨天時の態度は、午前6時30分に決定するので、各チームは事務局へ問い合わせること。
    - ② 雨天の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な場合は試合を行う。
    - ③ 当日試合を全く行わない場合と、試合開始時間を繰り延べて行う場合があるので、大会本部からの連絡に

- 注意すること。
- (6) アウト時のボール回しは認めない。
  - (7) 大会中の怪我等事故については、各チームで責任を負うものとする。
  - (8) その他試合の進行については、球場責任者及び球場責任審判員の指示に従うこと。
  - (9) 試合中の選手への指示は、ベンチ入りした監督・コーチに限る。尚、選手を委縮させるような言動は禁止する。
12. 競技規則
    - (1) 最新年度「公認野球規則」並びに(公財)全日本軟式野球連盟が発行する最新「競技者必携」及び「本大会規定」を適用する。
    - (2) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球「J号球」とし、主催者が用意する。
    - (3) 金属・ハイコン(複合)バットはJ・S・B・Bのマークをつけた公認のものに限る。
  13. 本大会規定
    - (1) 大会は、トーナメント方式で行う。
    - (2) 試合は、6イニングスとする。但し、試合開始後1時間30分を経過した場合は、新しいイニングには入らない。
    - (3) コールドゲームは、暗黒、降雨等及び得点差による場合とし、暗黒、降雨による場合は、4回以降均等回の得点をもって勝敗を決する。  
得点差による場合は、3回均等回終了後以降10点差以上、及び4回均等回終了後以降7点差以上の時に適用する。決勝戦も同様とする。
    - (4) 6回を完了又は試合開始後1時間30分を経過した均等回で同点の場合は、直ちにタイブレーク方式とする。
    - (5) タイブレーク方式は、継続打順で、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打者として、1死満塁の状態で行い、得点の多いチームを勝ちとする。
    - (6) タイブレーク方式で1イニングを完了しても決着がつかないときは、試合終了時に出場していた選手による抽選で勝敗を決定する。
    - (7) 投手の投球制限
      - ① 投手の投球数は、1日70球とする(4年生以下の投手については、60球とする)。但し、打撃中に70球(4年生以下は、60球)に達した場合は、その打者の打撃が完了するまでとする。
      - ② 大会日程の都合上、1日2試合を行うことも想定しているため、その場合には、投手の投球制限については、1試合4イニング(特別延長も含めて12アウト・4年生以下は1試合3イニング9アウト)とすることもある。
    - (8) 抗議権を有する者は、監督(ファールライン以内)及び当該プレーヤーとする。
    - (9) 捕手(控え捕手も含む)は、プロテクター、レガース、マスク(スロートガード付き(一体化も可))、捕手用ヘルメット及びファウルカップ(女子選手は除く)を着用すること。
    - (10) 各イニングの投球練習に際し、プロテクター等の装具を着けない選手が捕球する場合は、選手の怪我防止のため、立位で捕球すること。
    - (11) DH制については、採用しない。

#### 14. 合同チームについて

出場チームは、参加する1チームの部員数が8名以下(1・2年生を除く)のチーム同士の場合は連合を認める。

※連合は選手数が少ないチーム同士数チームでも可能とする。連合チームの中の1チームの部員数が9名を超えても連合していた他のチームの選手数が満たない場合はそのチームの選手登録は救済処置として認める。ただし主催者の承認をえることとする。

#### 15. 審判

- (1) **審判は、帯同審判員により準決勝まで行う。**  
各チーム2名の審判員を審判の服装で帯同すること。
- (2) 担当は、審判に関する事項の担当表により担当し、組み合せ番号の若いチームは、球審及び2塁、他チームは、1塁及び3塁を担当する。
- (3) 対戦表決定後並びに勝ち残り途中でチームの参加を取り消す場合は、大会運営に支障をきたすので、必ず代表者或いは監督等による審判員の人的派遣をすること。
- (4) **大会最終日の決勝戦は、主催者で担当する。**

#### 16. 大会事務局

特定非営利活動法人水郷軟式少年野球協会 事務局  
事務局長 鎌倉徹也  
電子メール tkamakura555@gmail.com  
携帯 Tel 090-1500-5534

17. 止むを得ず不参加となる場合は、早急に事務局へ連絡すること。